

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2009-535762(P2009-535762A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-507222(P2009-507222)

【国際特許分類】

H 0 1 R 4/70 (2006.01)

H 0 1 R 4/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/70 B

H 0 1 R 4/24

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月14日(2010.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 要素のサイズを有する第 1 電気要素に回路の第 1 電極を接続すると共に、第 1 要素のサイズよりも小さい第 2 要素のサイズを有する第 2 電気要素に前記回路の第 2 電極を接続するためのスナップオンコネクタであって、前記スナップオンコネクタは、前記第 1 電気要素をガイドするための第 1 リセスと、第 2 電気要素をガイドするための第 2 リセスを備え、それぞれの第 1 および第 2 リセスは、相互に入れ替え不能に前記第 1 リセスと前記第 1 電気要素とをペアにするための第 1 手段、および前記第 2 リセスと前記第 2 電気要素とをペアにするための第 2 手段を、それぞれ含み、前記スナップオンコネクタは、第 1 および第 2 部分を更に備え、前記第 1 部分は、前記第 1 および第 2 リセスを備え、前記第 2 部分は、第 3 および第 4 リセスを備え、前記第 1 および第 2 部分が閉位置にあるとき、前記第 1 リセスと前記第 3 リセスとは、前記第 1 電気要素を固定するための第 1 開口部を共に形成し、前記第 2 リセスと前記第 4 リセスとは、前記第 2 電気要素を固定するための第 2 開口部を共に形成し、前記スナップオンコネクタは、前記第 1 部分と前記第 2 部分とを互いに結合するためのヒンジを更に備えるスナップオンコネクタ。

【請求項 2】

前記第 1 手段は、第 1 リセスのサイズであり、前記第 2 手段は、前記第 1 リセスのサイズよりも小さい第 2 リセスのサイズである、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 電気要素は、並列な電気要素であり、第 1 および第 2 要素のサイズは、前記電気要素の横断面に平行な平面内のサイズであり、前記第 1 および第 2 リセスのサイズは、前記平面におけるサイズである、請求項 2 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 要素のサイズは直径であり、前記第 1 リセスは、第 1 のカーブした形状を含み、前記第 2 リセスは、第 2 のカーブした形状を含み、前記第 1 リセスのサイズは、前記第 1 形状の直径であり、前記第 2 リセスのサイズは、前記第 2 形状の直径である、請求項 3 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 5】

前記第 1 リセスのサイズと前記第 2 電気要素のサイズとの差は、前記第 1 リセスのサイズと前記第 1 電気要素のサイズとの間の差よりも大であり、前記第 2 リセスのサイズと前記第 1 電気要素のサイズとの差は、前記第 2 リセスのサイズと前記第 2 電気要素のサイズとの間の差よりも大である、請求項 2 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 6】

前記ヒンジは、前記第 1 および第 3 リセスよりも、前記第 2 および第 4 リセスに、より接近している、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 7】

前記第 1 および第 2 部分が閉位置にあるとき、前記第 1 リセスから、前記第 3 リセスに向いて突き出ている第 1 接点を備え、更に前記第 2 リセスから、前記第 4 リセスに向いて突き出ている第 2 接点を備える、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 8】

前記第 1 電気要素は、第 1 導線を備え、前記第 2 電気要素は、第 2 導線を備え、前記第 1 要素のサイズは、前記第 1 導線の直径であり、前記第 2 要素のサイズは、前記第 2 導線の直径である、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 9】

前記第 1 電気要素は、第 1 アイソレート層に囲まれた第 1 導線を備え、前記第 2 電気要素は、第 2 アイソレート層に囲まれた第 2 導線を備え、前記第 1 要素のサイズは、前記第 1 導線と前記第 1 アイソレート層との組み合わせの直径であり、前記第 2 要素のサイズは、前記第 2 導線と前記第 2 アイソレート層との組み合わせの直径である、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 10】

前記第 1 導線の直径は、前記第 2 導線の直径にほぼ等しく、前記第 1 アイソレート層の厚さは、前記第 2 アイソレート層の厚さより大である、請求項 9 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 11】

前記第 1 手段は、前記第 1 リセスから突き出る第 1 接点を備え、前記第 2 手段は、前記第 2 リセスから突き出る第 2 接点を備え、前記第 1 接点は、第 1 接点のサイズを有し、前記第 2 接点は、前記第 1 接点のサイズよりも小さい第 2 接点のサイズを有する、請求項 1 に記載のスナップオンコネクタ。

【請求項 12】

請求項 1 に記載の前記スナップオンコネクタを備える回路。

【請求項 13】

1 つ以上の発光ダイオードを備える、請求項 12 に記載の回路。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の前記回路を備えるデバイス。

【請求項 15】

第 1 要素のサイズを有する第 1 電気要素を備え、前記第 1 要素のサイズよりも小さい第 2 要素のサイズを有する第 2 電気要素を備え、前記第 1 電気要素と第 2 電気要素とは、平行な電気要素であり、前記第 1 電気要素および第 2 要素のサイズは、前記電気要素の横断面に平行な平面内のサイズとなっている、前記第 1 電気要素および前記第 2 電気要素によって形成されたケーブル。

【請求項 16】

前記第 1 電気要素をガイドするための第 1 リセスと、第 2 電気要素をガイドするための第 2 リセスを備えるスナップオンコネクタにより、第 1 要素のサイズを有する第 1 電気要素に回路の第 1 電極を接続すると共に、第 1 要素のサイズよりも小さい第 2 要素のサイズを有する第 2 電気要素に前記回路の第 2 電極を接続するための方法であって、相互に入れ換え不能に前記第 1 リセスの前記第 1 手段により、前記第 1 リセスと前記第 1 電気要素とをペアにするための第 1 ステップと、前記第 2 リセスの第 2 手段により、前記第 2 リセスと前記第 2 電気要素とをペアにするための第 2 ステップと、を含み、前記スナップオンコ

ネクタは、第 1 および第 2 部分を更に備え、前記第 1 部分は、前記第 1 および第 2 リセスを備え、前記第 2 部分は、第 3 および第 4 リセスを備え、前記第 1 および第 2 部分が閉位置にあるとき、前記第 1 リセスと前記第 3 リセスとは、前記第 1 電気要素を固定するための第 1 開口部を共に形成し、前記第 2 リセスと前記第 4 リセスとは、前記第 2 電気要素を固定するための第 2 開口部を共に形成し、前記スナップオンコネクタは、前記第 1 部分と前記第 2 部分とを互いに結合するためのヒンジを更に備え、前記方法は、前記第 1 開口部を介して前記第 1 電気要素を固定するための第 3 ステップと、前記第 2 開口部を介して前記第 2 電気要素を固定するための第 4 ステップとを更に含む方法。